

市政の窓



No.44

熱狂のサッカーW杯

ワールドカップ

急速なサッカーの普及に伴い若年層に愛好者・ファンが多く、「巨人・大鵬・卵焼き」の世

代はサッカーに興味があるのか。高校入試でサッカーの試合は1チーム何人かとの問題に不正解だった記憶があります。今でもオフサイドのルールもわからない状況で、先日のW杯出場メンバー発表時の異常な興奮ぶりやサプライズで選ばれた大久保選手という名前の報道には異次元でしたが、選出された選手の半数以上が海外で活躍して

り、野球のメジャーリーグ以上かと驚かされました。こんな私でも今月は否応なしにサッカー熱に飲み込まれると思います。

12日よりブラジルで開催されるW杯。厳しい予選を勝ち抜いたザックジャパンの評価は世界でも注目されており、日本国民の応援を受けその活躍は大いに期待されております。サッカー無知な私たち世代も、倅や孫と一緒に半日の時差のある試合に一喜一憂、力いっぱい応援したいと思えます。

開設建設工事の遅延と治安の問題がありますが、国力を挙げ日ごと改善させることでしよう。

開催国ブラジルの印象は、地球の裏側・アマゾン川・移民の多い国・リオのカー

ニバル、そしてサッカーが国技ともいえる国である。情熱の国で行われるW杯は全世界を熱中させることでしよう。少々心配なことは、

日本と国交の深いブラジルでは、W杯の2年後はリオ五輪開催が予定されております。東京五輪前の大会ですので、大変気になるところです。W杯、リオ五輪の成果が東京五輪の成功条件です。がんばれブラジル!! 負けるな日本!!

地球の裏側・アマゾン川・移民の多い国・リオのカー

地球の裏側・アマゾン川・移民の多い国・リオのカー

地球の裏側・アマゾン川・移民の多い国・リオのカー

文芸コーナー

短歌

小泉 泰清 推薦

秋刀魚の骨喉にささり人は医に高値の魚になりしと冗談

飯倉台 多部田佐智子

娘に誘われ四十年振りのお茶会へ客人達の装いに見とれ

西小笹 伊東 英子

終活と狂気の如きマスコミに囃され踊るも何をすべきや

八日市場イ 鈴木 和子

残照は木々を通して一瞬を八ツ手の花を赤く染め居り

内山 久古美智子

春惜しみ人包むがに咲く花の牡丹のうす紅風にさゆらぐ

長谷 宇野とし子

年重ねひぎの痛みに堪えて姉金具挿入笑顔戻りぬ

堀川 山本 伸子

門の朽ちて落ちたる枝折戸はなすすべもなく風にうべなう

八日市場イ 椎名 昭雄

川口 城司 推薦

五十本の諸苗を植ゑがつくりと今日は疲れて腰おろしたり

栢田 渡辺 重雄

夕影のチューリップ園杖の人車椅子の人ゆっくりあゆむ

野手 石田 秀子

ひょうたん池またぎ東西に綱を張り五色の鯉は大空に泳ぐ

野手 佐藤 晃子

いつとなく厨のすみに忘れぬし馬鈴薯白き芽を吹きてをり

今泉 小川みさ子

俳句

八木 佐久司 推薦

面脱れば剣士は少女聖五月

八日市場八 西野 棠雨

図書館だより



休館日…5日(木)、毎週月曜日

「千葉県内横断検索」予約サービスをご利用ください

お探しの本が市立図書館にない場合、千葉県立図書館の「横断検索」システムを利用して、他自治体の図書館から取り寄せができます。※県外から借りる場合、片道分の送料を負担していただきます。詳しくはお問い合わせください。

- おはなし会 (八日市場図書館)
日時…毎週土曜日14時から約30分間
☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)
- ドリームキッズ (のさか図書館)
日時…28日(土) 10時30分～
内容…本の読み聞かせや人形劇など
☎若林 ☎67-5965

寄付 (2万円以上)

- 市へ
 - そうさ舞踊会 (会長・鳳秀院崇世) 様より …66,274円
 - 白秀会九十九里 (会主・土屋秀山) 様より …30,000円
- 社会福祉協議会へ
 - 匝瑳市植木組合様より …32,600円

匠 探訪 97

聖徳太子塔

吉田を歩く

1889年4月に明治の町村合併で吉田村が誕生し役場とともに2年半後に吉田小学校も開校、村の中心となりました。

小学校の校門そばの大木のもとに並ぶ数基の石造物から地域の歴史を知ることができ

ます。

右側から庚申塔(文字塔)、聖徳太子塔、庚申塔(刻像塔)が2基、そして馬頭観音塔の順に並びます。

最も古いものは、1680年に立てられた庚申塔で、この年が庚申にあたるため村をあげて塔を立てました。

正面の文字を見ると、「下総国千田庄吉田村」とあり、吉田地域が1200年代以降、千葉氏の支配した千田庄に含まれていたことを伝えています。市内に残る庚申塔は、この年に造立されたものが最古です。

右から3番目も庚申塔で、1740年の庚申年に「吉田村」全体で立て、右端の1860年の塔には「住方講中」とあります。1700年ごろから村が7人の支配者に分割され、次第に集落意識が深まったことをこの塔が示しています。

右から2番目に立つのが聖徳太子塔です。正面に「聖徳

太子」、台石に「吉田村太子講中」と文字が刻まれています。太子講中とは大工、左官、畳屋、鍛冶屋などの職人やきこり、木挽きなどの仕事をする仲間のこと、決められた日に集まり、賃金や仕事の取り決めなどをしたとされます。塔が立てられたのが1788年で、当時の村びとの中にこうした職業の人たちがいたことを伝えています。

今までに市内で確認された「聖徳太子塔」は、金原区(飯高地区)にある1825年に飯高村など周辺10か村の職人たちが立てた塔と吉田村のこの2基だけです。

左端の「馬頭観世音」と刻まれた文字塔は、1926(大正15)年に「吉田組運送」が立てました。同年12月には軽便鉄道多古線の八日市場・多古間が開通する予定で、運送業者が安全を祈念したのかも知れません。

近くに熊野神社もあり、30年ほど前からこの場所に石塔を立てたことで、村びとにも村の中心と考える意識が芽生えていたのでしょう。

(元 市職員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

力作 募集

あて先：匠瑛市秘書課広報広聴班

〒289-2198

匠瑛市八日市場八793番地2

☎73・0080 FAX72・1114

竹秋の明るさにある仁王門

八日市場八 大川 宣子

おぼる夜や野口英世の母の文

若潮町 石毛 浩子

花楓千年かもす屋根の鷓尾

長谷 宇野とし子

老の畑茄子苗僅か五本程

八日市場八 江波戸知巳

濡れ煎餅下げてこっくり春電車

八日市場口 高安せい子

椎落葉わが家の歴史見上げをり

横須賀 吉野 ヨシ

時鳥銜に明ける山の宿

八辺 依知川きよ

川口城司 推薦

色鳥のつつと走りまた走り

栢田 伊藤 定子

やはらかき孫の手にぎり磯遊び

堀川 高野 操

田越しやかえるの両眼泥に出づ

栢田 石田 健

川柳

高梨果宝 推薦

顔見知り長話してあなた誰

長谷 石毛惣一郎

カードより顔が物言う偉い人

飯塚 鈴木ツネ子

苦労した顔が笑ってバスの旅

木積 佐久間美智子

ここだけの話は耳へ顔を寄せ

八日市場ホ 菱木 静枝

古希過ぎて母に似て来た顔体

飯高 林 サダ子

ときめきもそこそこありて古希迎え

飯高 松野 敏昭

爽やかに頬撫でて行く初夏の風

東小笹 江波戸京子

陽焼けた顔勤労の意欲燃え

八日市場イ 常世田やす子

吉田小学校の校門そばに並ぶ石塔

